

		<p>訪問先: 美幌町役場、峠の湯びほろ、美幌町森林組合、運搬会社</p> <p>審査内容: (1)本プロジェクトが、プロジェクト計画書及び同別紙モニタリング計画書並びにモニタリング報告書(Ver.2.1)記載の通り実施されているかの確認を現地視察、プロジェクト関係者へのインタビューにより実施。特に、モニタリング体制、計測機器及び計測データ等の確認状況、並びに QA/QC 体制について確認した。 (2)モニタリング報告書記載の算定結果を集計データによってチェックすると共に、その適格性(適用デフォルト値を含む)、計測器並びに計測データ等の確認記録について検証をおこなった。特に、 ＜ベースライン排出活動＞ 実績管理表による木質チップ使用量他 ＜プロジェクト排出活動＞ 木屑チップの消費量及び生産量、燃料(軽油)購入量、及び電力使用量他 (3)当日所見報告書の作成・一時的合意</p>				
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011(11/1～)	2012(～11/30)
	t-CO2	-	-	-	107.97	145.88
検証結果の要約		<p>本検証では、妥当性確認・検証ガイドライン(Ver.2.2)を検証基準として、北海道森林バイオマス吸収量活用推進協議会及び美幌町が実施する「美幌町 峠の湯びほろ木質バイオマスボイラー活用プロジェクト」のモニタリング報告書がプロジェクト申請書(Ver.1.5)、モニタリングプラン(Ver.1.5)、モニタリング方法ガイドライン(排出削減プロジェクト用)(Ver.4.1)及び方法論 E001(Ver8.2)に準拠しているかどうかについて確認した。</p> <p>検証の結果、モニタリング報告書(Ver.2.1)は、J-VER制度におけるプロジェクト申請書(Ver.1.5)等に準拠していることを確認した。また、重要性は、検出された誤りが全て修正されたことで、量的基準(削減量の5%以内)を満たしていることを確認した。なお、モニタリング期間2011年11月1日～2012年11月30日における本プロジェクトでの削減量は253t-CO₂である。</p> <p>従って、本プロジェクトのモニタリング報告書(Ver.2.1)は無限定適正である。以上により、本プロジェクトの認証をオフセット・クレジット(J-VER)認証委員会へ申請することを推奨する。</p>				

ⁱ 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。

ⁱⁱ 検証機関がプロジェクト代表事業者等からモニタリング報告書を受領した日を記載すること（この日を以て当該検証の開始日とみなす）。